

所在地:	和歌山県紀の川市打田612-1		
敷地面積:	102300m <sup>2</sup>	延床面積:	61147m <sup>2</sup>
設立:	1991年4月	従業員数:	517名
ISO14001取得:	1998年3月	ISO14001最新更新:	2011年4月
主要製品:	リチウムイオン電池および主要部品材料		
環境コミュニケーション:	10年度		
情報開示:	1件	工場見学:	地域貢献活動: 1件
問合せ:	環境施設チーム	TEL:	0736-77-7211



## ごあいさつ

当サイトは、まわりを山々に囲まれた自然いっぱいのすばらしい環境の中にあります。そのような中で多くの資源、環境負荷物質を使用してリチウムイオン電池及び主要部品材料の生産を行い、これを通じて社会貢献に努めております。このことを踏まえ、パナソニック㈱エナジー社の基本理念及びビジョン並びに環境マネジメントマニュアルに従い、環境の保全改善を継続的にを行い、自然環境と調和した健全な事業活動を行うeco ideas工場を目指すことを方針とし、日々環境保全活動に努めております。目指す姿は「電池(蓄エネルギー商品)を省エネルギーで生産する工場」です。



環境責任者

中村 正弘

## 2010年度の環境重点テーマの取組み

目標	成果
年間CO2排出量 24,362t以下に抑制。	設備のこまめ停止などの省エネ取組みより、年間CO2排出量 19,118tを達成。
廃棄物発生量削減率 前年度比3%削減。	工程不良削減取組による工程屑の削減などにより、廃棄物発生量削減率 3.4%を達成。
化学物質(重点削減物質)排出・移動量削減率 前年度比2%削減。	工程不良削減取組みや生産性向上により、化学物質排出・移動量削減率 4.7%を達成。

## 製品・環境配慮ポイントの紹介



リチウムイオン電池及び  
主要部品材料の生産を行っています。

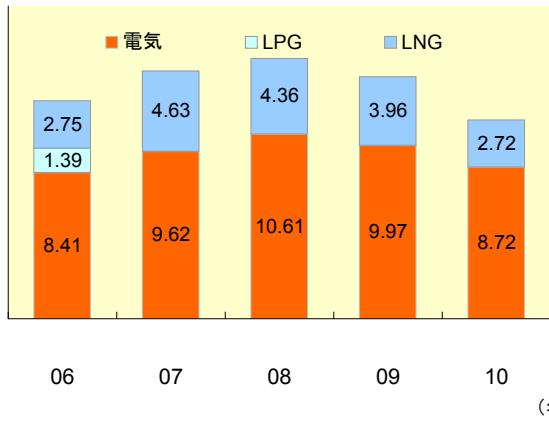
### 製品の環境配慮ポイント

超軽量・高電圧・高エネルギーで自己放電率が少なく、携帯電話やノートPCなど最新機器に多く使われている電池です。

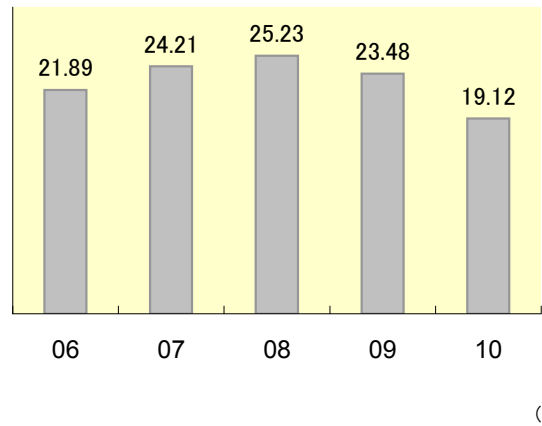
→製品情報へリンク

環境パフォーマンスデータ グラフ表示年 010: 2010年4月1日~2011年3月31日

エネルギー使用量 単位: 千kl



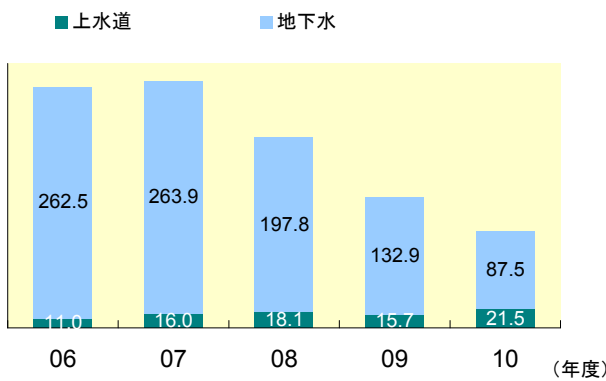
CO2排出量 単位: 千t



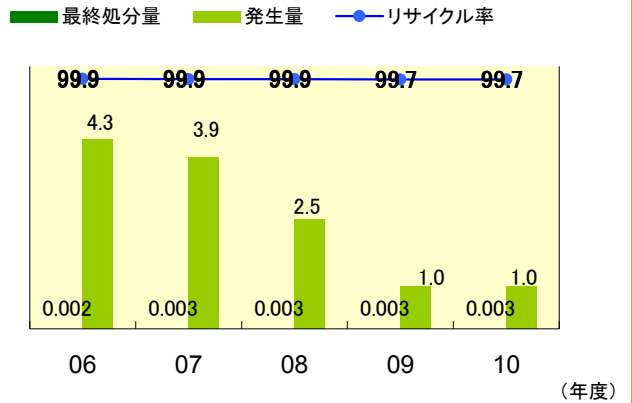
算出基準について

電機事業連合会「電気事業における環境行動計画」(2008年9月)に記載されている年度ごとの「使用端CO2排出原単位」を使用して計算。但し、2006年度以降は0.410kgCO2/kWhを固定して使用。

水の使用量 単位: 千m³

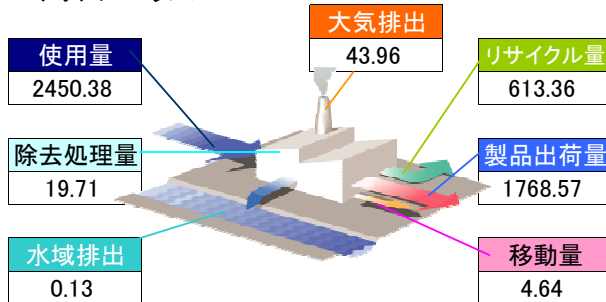


産業廃棄物・有価発生物 単位: 千t、%

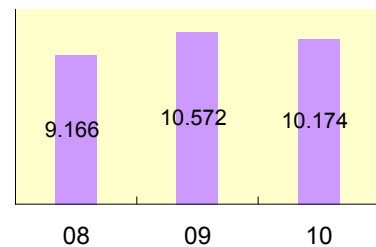


化学物質

マテリアルバランス



重点削減物質 排出・移動量



環境パフォーマンスデータの特記事項

パナソニックグループの工場化学物質管理について  
[http://panasonic.co.jp/eco/factory/chemical\\_substance/](http://panasonic.co.jp/eco/factory/chemical_substance/)

環境法令等の順法状況 10年度

<大気汚染物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm <sup>3</sup> /h	N/A					
		N/A					
		N/A					
NOx	ppm	アニール炉	230	200	62	80	2回/年
		1棟貫流ボイラー	150	100	40	43	2回/年
		7棟貫流ボイラー	150	100	29	30	2回/年
ばいじん	g/Nm <sup>3</sup>	アニール炉	0.20	0.05	0.01	0.01	2回/年
		1棟貫流ボイラー	0.30	0.05	0.01	0.01	2回/年
		7棟貫流ボイラー	0.30	0.05	0.01	0.01	2回/年

<水質汚濁物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	N/A					
BOD	mg/l	N/A					
窒素	mg/l	N/A					
リン	mg/l	N/A					

<騒音・振動>

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 敷地境界線A	65	55	36	36	1回/年
		夜 敷地境界線A	45	45	42	42	1回/年
振動	dB	昼 敷地境界線E	60	55	26	26	1回/年
		夜 敷地境界線E	55	50	0	0	1回/年

法令規制値: 法または条例および協定の規制する値

N/A: 法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

報告すべき事項はございません。

指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
報告すべき事項はございません。	

環境方針

パナソニック株式会社 エナジー社 和歌山地区  
環境方針

自然環境と調和した eco ideas 工場を目指す。

パナソニック(株)エナジー社和歌山地区は、まわりを山々に囲まれた自然いっぱいのすばらしい環境の中にあります。

そのような中で多くの資源、環境負荷物質を使用してリチウムイオン電池及び主要部品材料の生産を行い、これを通じて社会貢献に努めています。このことを踏まえ、パナソニック(株)エナジー社の基本理念及びビジョン並びに環境マネジメントマニュアルに従い、環境の保全改善を継続的にを行い、自然環境と調和した健全な事業活動を行う eco ideas 工場を目指します。

1. 商品やエコ活動を通じて心豊かなグリーンライフスタイルを提案し、グリーンライフイノベーションを起こす。
  - ・地域と共存する工場づくりを通じ、地域の人々と協力して環境と健康及び安全を守るとともにエコ活動を地域にひろげます。
2. 資源、エネルギーを限りなく活かし、メーカーとしてのグリーンビジネスイノベーションを起こす。
  - ①CO2の削減
    - ・省エネルギーを推進し、モノづくりでのCO2削減に取組み、CO2削減貢献量を最大化します。
  - ②省資源の取組み
    - ・廃棄物の発生抑制及び分別回収の徹底による再資源化を推進します。
    - ・主要な原材料の効率的な使用(工程不良削減や歩留まり向上)を図り、省資源化・化学物質の削減を推進します。
  - ③環境リスクの低減
    - ・当地区の運営に当たっては、環境関連の法律、規制、協定及び当地区が受け入れたその他の要求事項を順守し、環境汚染の予防に努めます。
    - ・環境保全設備の維持管理、向上に努め、大気、水質、土壌への環境負荷物質の排出抑制を推進します。
3. 環境マネジメントシステムの維持発展  
環境保全・改善活動を効果的且つ継続的に推進するためにISO14001の規格の要求事項に沿った環境マネジメントシステムの維持向上に努めます。  
また、eco ideas 工場として、収益性の向上と環境改善を両立する環境経営に取り組みます。
4. 本方針実現のために目的・目標を設定し推進計画を作成して推進を図るとともに、内外の状況の変化や内部監査等により定期的に見直しその達成に努めます。  
方針及びその他の活動について、従業員及び構内で組織のために働く全ての人に周知し、各々の従業員の環境保護に対する責任が理解されるよう教育・啓発を行うと共に、一般の人々にも開示します。

2010年10月1日

パナソニック株式会社

エナジー社 和歌山地区代表

中村正弘

## 環境負荷削減の取り組み事例

### ●ドライエア装置のこまめ停止による省エネ

FEMS(工場エネルギーの見える化システム)を活用し、ドライエア運転のこまめ管理を行うことにより、ドライエアの無駄な運転を削減する取り組みを実施しました。

【削減量】CO2排出量: 1,686t/年削減

### ●空調機の更新による省エネ

ガス焚吸収式冷温水機から高効率のモジュール式空冷チラーに更新することにより、負荷に応じた台数制御運転、待機ロス最小化、こまめな冷水温度設定など効率的な運転ができるようになりました。

【削減量】CO2排出量: 1,185t/年削減

## 環境コミュニケーション事例

### ●地域河川清掃への参加

和歌山工場は、地域社会貢献活動の一環として6月26日に行われた河川清掃活動に参加し、工場内を流れている烏子川下流の清掃を行いました。7月5日には地元小学校の児童と共に約500匹の鯉の放流を行いました。この活動は、鯉の放流を行うために打田鯉放会が企画・実施しているもので、和歌山工場は毎年参加しております。地域の川を美しく保ち自然環境を守るため、今後も積極的に参加していきます。



### ●和歌山県「企業の森」事業に参画

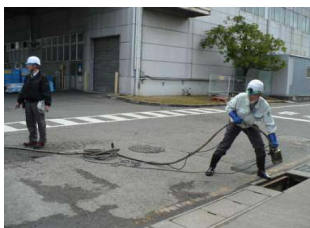
和歌山県が進める「企業の森」活動に参画し、和歌山県紀の川市神通地内に「えがおの森 紀の川」と名付け、和歌山工場が中心となり森林保全活動を実施します。4月23日に植樹祭を行いエナジー社から31名、地元地域からは紀の川市長様・県振興局長様をはじめとする、約20名の方々にご参加頂き、式典・メイン看板の除幕式・記念植樹の後、全員で「紅葉・山吹・ツツジ・ヤマモモ・クヌギ」の苗を植樹しました。今後「えがおの森 紀の川」では10年間にわたって森林保全、管理活動(下草刈り、間伐体験など)に取り組み、地球環境保護を推進していきます。



## 緊急事態への準備と対応

### 考え方と訓練計画

地球環境に対する負荷が高い設備・作業の規定を定め、各設備ごとの緊急事態作業手順書を作成し、設備周辺に設置、それに基づいた緊急事態訓練を年1回実施しています。



### 屋外硫酸タンクからの流出を想定しての緊急事態訓練

希硫酸納入時、接続部より希硫酸が漏れ構内道路に流出した場合を想定。

<応急処置>

- ・水中ポンプにて流出した希硫酸を排水溝より排水処理ピットに移送。
- ・散水にて流出した希硫酸を排水溝へ流し込み水中ポンプにて排水ピットへ移送する。
- ・排水溝のpHを測定し中性であることを確認し、排水溝を開放。